

# 狭山ケーブルテレビ

SAYAMA CABLE TV

## 10月の“ちゃっぴい9”

“茶うとび狭山”10月2日(木)～10月31日(金)

▶寿荘囲碁大会▶狭山女性フォーラム活動展示会▶みのり祭▶古文書読解講座▶大相撲秋巡業狭山場所▶体力テスト会▶S・a・iの街福祉バザール▶女性ドラマー点検教室▶ゆとりフェスティバル'97ほか ※毎週火・木・土に内容が新しくなります。土・日はダイジェスト版があります。そのほか市役所や市民会館、博物館、図書館など、市民の生活に役立つ情報もお送りします

“ちゃっぴいアワー”9月26日(金)～10月30日(木)

●狭山なんでもあり▶「狭山と暁斎」博物館の河鍋暁斎展▶「みんなでかかしづくり」奥富のかかし祭

●勝手にランキング▶紙相撲力士▶珍しいはがきほか

●ふくじ▶聴覚障害者のかたから

●いつまでも青春年齢▶城山遺跡にて・いにしへのロマン(発掘作業にあたる人々)▶大空に夢を…(田中昭重さん)

●狭山かわらばん▶市内の話題と情報

●さやまネットサーフィン▶文字でお伝えする情報、葬儀、お通夜などのご案内もいたします。ご相談ください

## その他の“ちゃっぴい9”

●お茶飲みにきま専科▶狭山場所を前に大相撲を語る・浦嶋三郎さん(9月26日～10月2日)▶障害を乗り越えTRY・田内勝枝さん(3日～9日)▶フルーツとサッカーに興じて・平田公弘さん(10日～16日)▶人生に生き甲斐を・新村公男さん(17日～23日)▶耳地蔵のある徳林寺・山崎恵明さん(24日～30日)

●ちゃっぴい撮影隊参上▶Cチャンネルほか

●狭山市ホットインフォメーション(市役所からのお知らせ)

●ファロスクラブ(税に関するお話し)

●ケーブルテレビ衛星機構▶19日(日)、10:00～16:00…'97日本女子ソフトボールリーグ愛知大会

●近隣ケーブルテレビ局の番組▶所沢・入間・飯能・川越 ※番組は諸事情で変更になることがありますのでご了承ください。また、見逃したかたはVTRダビングをお申し込みください

→狭山ケーブルテレビへ(番組に関することは ☎56-5630・FAX56-1179、そのほかのことは ☎0120-340-379・FAX58-0566へ)

# 伝言板

## ●川越狭山工業団地内のクリーン作戦を実施



9月3日(水)、川越狭山工業団地懇話会(高木会長)では、工業団地内の美化運動として西武新宿線をはさむニチレイから小松メック間、東和電気から光村印刷間約2kmの清掃活動とごみ捨て防止の看板10枚の設置を実施しました。同会には、川越市、狭山市の企業64社が加盟しており、当日は43社80名の参加がありました。このクリーン作戦は、工業団地内の電車の線路を挟む両側の道路が泥や空き缶、空きビンなどにより非常に汚れていたことから同会の環境・防災委員会(荒川委員長)の主催により昨年からの実施されています。

## ●人口と世帯

平成9年9月1日現在  
外国人登録人口を含む。( )内は前月比

男	83,415人(69人の増)	合計 163,251人(149人の増)
女	79,836人(80人の増)	

## ●市の位置と面積

世帯 58,501世帯(77世帯の増) (位置は狭山市役所)

東経	139度24分54秒	北緯	35度50分59秒6835
面積	49.04平方キロメートル	海拔	77.2メートル

## ●消防本部からの報告

▶8月の火災件数4件(建物1件、車両2件、その他の火災1件)▶救急出動件数318件 搬送人員307人

## ●今月の同時配布

▶赤い羽根共同募金ちらし▶西武バス時刻表

お・茶・香・る・ま・ち



[狭山市広報/お知らせ版] VOL.315

◆発行日/平成9年9月25日(毎月10・25日発行)  
◆編集・発行/狭山市役所企画財政部秘書広報課  
〒350-13 埼玉県狭山市入間川1-23-5  
TEL.0429-53-1111(内線386)  
FAX.0429-54-6262(行政資料室)  
テレホンガイドさやま ☎0120-460-380

残暑というにはあまりにも厳しい暑さとなった8月30日、防災訓練が行われました。会場ではさまざまな訓練が実践しながら展開される中、はずれのほうで炎や煙と格闘しているかたがたがいました。しかし！そのかたがたは、火を消すのではなく火をどんどん燃やしているではありませんか。そうです。それは炊き出し訓練に参加されている皆さんだったのです。スイッチ「ボン」でおいしいご飯がいただける今日、100人分炊ける大釜で大汗を流しながらご飯を炊いているのでした。そして昔とった杵柄で、かまどでご飯を炊くときの格言「初めチョロチョロ中パッパ赤子泣いてもふた取るな」を実践し、おいしく炊きあげていました。なかにはどうしたことかシンのあるご飯ができてしまった釜もありましたが、これも「災害時には食糧にしなくては」と再度おじやに作り直していた姿に感動しました。物が豊かで飽食の時代といわれる今、大切なのは、この心構えなのだと実感した一日でした。㊦

## ●編集後記